

学校だより

さくらっ子

四日市市立桜小学校

令和元年9月20日

第11号



全国学力・学習状況調査の結果から①

6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きました。調査から測定できるのは、子どもの学力の一部であり、学校の教育活動の一側面ではありますが、結果をもとに学校と家庭が協力して、教育活動や児童の学習環境の改善につなぐことが大切であると考えます。

今回の結果から見えてきた本校の「強み」「弱み」についてまとめました。



【国語】

本校の国語の平均正答率は66%でした。これは、県平均より2ポイント、全国平均より2.2ポイント上回る結果となりました。

- 「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて、自分の考えを明確にしながら読み取る」問題の正答率が90.7%で、全国や県よりも約10ポイント高い結果となりました。
 - 「目的に応じて、文や文章全体を概観して効果的に読む」問題の正答率は93%で、全国や県を5ポイント近く上回っています。
 - 「図表やグラフなどを用いた目的を正確に捉える」問題の正答率は79.1%で、全国や県を8ポイント近く上回っています。
 - 「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」問題の正答率は74.4%で、全国や県より5ポイント以上上回っています。
 - 「漢字を文の中で正しく使う」問題の中で「友達にかぎらず…」の正答率が48.8%で、全国や県より20ポイント近く低い結果となりました。
 - ・ 「調査のたいしょう」の正答率は46.5%、「かんしんをもつ」の正答率は46.5%で、全国や県よりも上回っていました。「かぎらず」のみ正答が低い結果となりました。
 - 「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、理解を確認するための質問をする」問題の正答率が69.8%で、全国や県より10ポイント以上低い結果となりました。
- 「読むこと」「考えをまとめること」が伸びていますが、「質問をすること」に課題が見られました。「文の中で漢字を正しく使う」力もより確かにしていきたいと思えます。

【算数】

本校の算数の平均正答率は68%です。これは、県平均より1ポイント、全国平均より1.4ポイント上回る結果となりました。

- 「資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、理由を記述できる」問題の正答率は62.8%で、全国や県より10ポイント以上高くなりました。
- 「示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式できる」問題の正答率は79.1%で、全国や県より10ポイント近く高い結果となりました。
- 「図形の性質や構成要素に着目し、図形を構成する」問題の正答率は67.4%で、全国や県より7ポイント以上高くなりました。
- 「示された除法の式の意味を理解する」問題の正答率は39.5%で、全国や県より5ポイント近く低い結果となりました。
- 「示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にする」問題の正答率は67.4%で、全国や県より7ポイント以上低い結果となりました。

「量と測定」「図形」「数量関係」すべてにおいて全国平均を上回りました。正答率の分布から、基礎的な理解がよいとの傾向が見られました。

しかし、除法(割り算)の設問は、無回答率が9%と高く、答えにたどり着かない児童が多く見られました。除法にも自信が持てるように取り組みを進めていきましょう。

これからの学習はこうします！～学年の実態に応じた取り組みを積み上げる～

① 基礎学力の定着

- 「朝の学習の時間」では、学年によっては視写を取り入れて名文に触れる機会とする等、読解、語彙の定着を図り、応用問題に取り組むための基礎となる学力の定着を図ります。
- 高学年の算数科では、既習の学習内容を定着させるために、視覚的効果のある教具を用いた復習を授業時間内に取り入れていきます。

② 発展的な問題の取り組み

- 国語科では、決められた字数を意識して文章にまとめたり、友だちが発言する内容をしっかりと聴いて書いたりする活動を通して、書く力を高めていきます。
- 新聞や広報紙など様々な資料を活用した授業を随時取り入れて、読解力、表現力など言語に関する能力の向上を図ります。
- 算数科では、論理的に思考し、多様な解き方に挑戦できるような様々なパターンの発展的な文章問題に取り組むようにします。

③ 読書の時間

- 「朝の読書の時間」を継続するとともに、読み聞かせボランティアや図書館司書による読み聞かせやブックトークなどの活動をさらに充実します。

④ 家庭学習の定着

- 家庭学習が習慣づくように「家庭学習の手引」の活用を呼びかけ、家庭と学校の協力体制を確立します。家庭学習が進まない児童に対しては、学校で教師と一緒に進めていくことで、習慣づけのサポートとなるようにします。
- 音読・漢字・計算の3本立てを基本に、適宜プリントやワークシートを活用し、反復練習に取り組ませます。

本校では、子どもたち一人一人が安心して学習できるように、学習規律や環境づくりに力を入れています。45分授業を確保し、授業開始・終了の号令をきちんとそろえ、先生や友だちの話を聞くことを大切にしています。そして、ユニバーサル・デザインを取り入れた「わかる」授業の展開によって、基礎基本の定着を図っています。

さらに、話し合い活動を通して、深い学びとなるよう授業改善に取り組んでいます。



スマホ&ケータイ 安全な利用を！



9月6日(金)の5・6時間目に視聴覚室で、5年生親子を対象とした「自然教室説明会」と「スマホ教室」がありました。

後半のスマホ教室では、NTTドコモの講師が「スマホを使ったことがある人?」「どんなことに使いますか?」などと子どもたちに問いかけながら、使い方を間違えると思わぬトラブルにつながることをわかりやすく教えてくださいました(左:写真)。

メールでの仲間はずしやなりすましなど、実際に起こりうるトラブルをドラマ化した動画が映し出されると、子どもたちも保護者の皆さんも固唾を飲んで見入っていました。

皆さんのご家庭でも、フィルタリングの活用や家庭でのルール作り等について、ぜひ、親子で話し合ってくださいと思います。

～お願い～

- 自動車で学校に来られる方へ
 - ・ 児童の安全、事故防止のために、正門前の道路には、駐停車されないようにお願いします。
 - ・ 児童のお迎えの場合は、中庭を開放しておりますので、そちらをご利用ください。
- 欠席などの連絡について
 - ・ 欠席などの場合は、配布物などもあるため、連絡袋に連絡帳(保護者用)と予定帳を入れて、連絡児童にことづけてください。
 - ・ 朝の職員室は、打ち合わせや授業準備などで個別の対応が十分にできないことがあります。電話での欠席連絡などは、控えていただきますようお願いいたします。
- 平成31年度 学校集金について(お知らせとお願い)
 - ・ 学校集金の振替時の手数料が、消費税増税に伴い、10月からは55円になります。9月までは54円でしたが、ご了承ください。